

ミツモチ山山行報告

【山行日】 2023年 5月 10(日) 晴れ
【集 合】 栃木市運動公園P AM 7:00
【費 用】 マイカー1台 : 1200円
【メンバー】 CL:鈴木、SL:大西、
嶋田、福田ケ、福田タ、渡辺

【コースタイム】A 班: 栃木市運動公園P7:00= 県民の森キャンプ場 P8:00/8:20~第一展望台 9:10~第二展望台 9:10/9:30~ミツモチ山 10:20/10:40~大間々台 11:50/12:50~山の駅「たかはら」13:30/13:40=道の駅「やいた」 14:05/14:20=栃木市運動公園 P15:00

B 班: 県民の森キャンプ場 8:10=大間々台 8:30/8:50~青空コース経由~ミツモチ山 10:00/10:20~ヤシオコース経由~大間々台 12:05/12:50=山の駅「たかはら」13:05/13:40

ネットでミツモチ山のツツジが見ごろとの山行記録を見て、県民の森からミツモチ山に登る計画を立てた。



我輩は前日から体調が悪くかかりつけの医院で抗原検査を受け、コロナとインフルエンザは陰性だったが絶不調である。

当日も体調はすぐれないが、「風邪は山で治す」と栃木市運動公園を出発した。

A 班3名は県民の森キャンプ場で車を降り、ここからミツモチ山を目指して出発する。

B 班3名はそのまま車で大間々台に向かい、大間々台から見晴コースを歩いてミツモチ山で合流する。

キャンプ場から道標に従って登山道を登り、

しばらく進むと沢山のヤマツツジの花が沢山落ちていた。

ここは花が終わってしまったが、この先高度が上がればヤマツツジの花が見頃だと期待が膨らむ。第一展望台の手前からヤマツツジの花数が多くなり、2人は「すごい綺麗！」と喜んでた。第一展望台から第二展望台への道はさらに多くなり、登山道の両側がオレンジ色に染まっていた。第二展望台に着きツツジ鑑賞の遊歩道を一周し、ヤマツツジの花の中を歩くコースは素晴らしい。展望台の檜の上に登り、上から今歩いて来た群生地を眺める。ここからは広い林道歩きになるが、ここにもヤマツツジの花が溢れていた。



さらにシロヤシオの花も咲いていて、白とオレンジ色のコラボが美しい。林道から左に山道を登り、

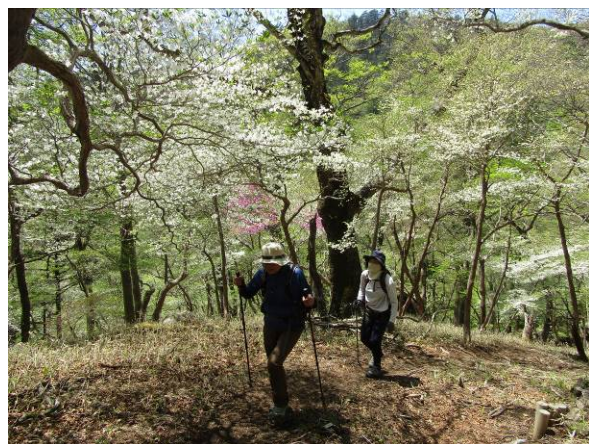


林道を横切りながら高度を上げて行く。ツツジの花は見られないが、新緑の中を歩く道はとても爽やかで気持ちが良い。ミツモチ山頂下の広場に着き、ベンチを見るが B 班の姿は無かった。山頂から声が聞こえるので「ヤッホー」と言うと、「ヤッホー」と返ってきたので我々も山頂に向かう。B 班は展望檜の下で休んでいて、無事合流できた。B 班は早く着いたようで、先行して大間々台に向かってヤシオコースを登って行く。我々は展望檜に登り、山頂からの展望や花を楽しんでから B 班

の後を追う。ミツモチ山から大間々台へのヤシオコースのシロヤシオとミツバツツジが素晴らしかった。ミツモチ山から平坦な道を進み、緩やかに下って行くとシロヤシオの花とミツバツツジのコラボが目に入る。まだ咲き初めだが木の数が多く、花の付きもハンパ無く多い。今年はツツジ類の花は当たり年で、その中でも数年に一度の大当り年のようだ。2人も「エ〜〜ナニこれ凄い綺麗」「スーさん連れて来てくれありがとう！」と感動していた。これが鞍部まで続き、これで終わりかなと思



うと登りも花の競演が続いていた。途中で B 班を追い越し、ゆっくり花を楽しみながら登り大間々台



に着く。トイレを済ませたら昼食の場所を探し、南側の林の中のベンチとテーブルを確保する。まもなく B 班も到着し、楽しいランチタイムが始まった。ほうれん草の卵とじとお稲荷さん、コロッケやキンピラゴボウなどが並び、美味しくいただいた。ランチが済んだら A 班と福田さんの4人は山の駅「たかはら」まで歩いて行く。B 班の2人は車で山の駅まで移動し、山の駅の周辺を散策する。大間々台から山の駅まで遊歩道を緩やかに下り、新緑の樹林の中を歩いて行くと山の駅の道路で

2人が待っていた。駐車場で靴を履き替えたら車に乗り、道の駅「やいた」に向かって出発する。山の駅からの道路もヤマツツジが満開で、左右のヤマツツジを見ながら楽しく走れた。道の駅「やいた」でトイレと買い物を済ませ、無事栃木市運動公園に帰着した。